

# こ ん に ち は



平成25年 第11号

秋気深まる頃、朝夕冷え込むようになりました。



## 都筑区医師会ヘルパーステーション創設15周年を迎えて

都筑区医師会ヘルパーステーション

管理者 青柳かおる

都筑区医師会ヘルパーステーションは、平成10年10月に、横浜市のモデル事業として開所し、このたび創設15周年を迎えることができました。それ以来、都筑区内と青葉区、川崎市宮前区の一部の皆様へ介護保険と障害福祉サービスによる、訪問介護サービスを提供させて頂いています。これもひとえに地域の皆様のご理解とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

15年前の都筑区の街は、建物もまばらで道路もすいていましたが、現在は官庁、商業施設も多数でき、人口も20万を越え、とても発展しました。

当事業所のヘルパーも少人数から始めましたが、現在は日勤15名、遅番10名、合計25名となりました。そのなかで男性ヘルパー2名も女性ヘルパーが多い中で活躍しています。

この15周年を契機に、当事業所も都筑区の街のように更なる発展をめざし、地域で訪問介護を必要とされる皆様が、安心して自宅で過ごすことができるよう、安定的で質の高い介護サービスの提供に努めて参りたいと思いますので、今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



都筑区医師会訪問看護ステーション	TEL 045-913-5181
都筑区医師会ヘルパーステーション	TEL 045-913-3577
都筑区医師会居宅支援センター	TEL 045-910-6327
	TEL 045-911-6100
都筑区医師会福祉用具センター	TEL 045-911-6100
看護・介護・福祉用具	FAX 045-911-6700
居宅	FAX 045-910-6506

☆☆パソコンから在宅事業部門の活動内容を見ることが出来ます。ぜひご覧下さい☆☆

<http://www.tsuzuki-med.org/center/idea.html>

『ヨコハマつづき健康生活ナビ』の『医療センター在宅事業部門』からお入り下さい。

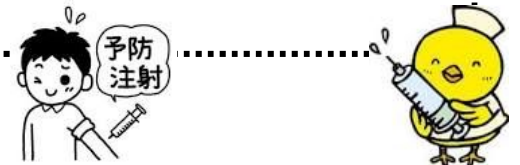
## ～事例発表会～

10月26日に 都筑区医師会在宅事業部の17周年記念事例発表会を開催しました。

お茶の水女子大学名誉教授の波平 恵美子先生による「日本人の死のかたち」というテーマの基調講演と、看護師（遠藤由香）、理学療法士（内海眞紀子）、介護福祉士（前田仁美）の3名の事例発表を行いました。

11月3日に都筑区民祭りがありました。  
当事業所の職員も参加し、握力測定・高齢者疑似体験を実施しました♪  
ちなみに握力最高は、男性（30歳代）61.1kg、女性（40歳代）39.4kgでした！  
来年も参加しますので、皆様見に来てみてください☆

インフルエンザの季節ですね・・・  
インフルエンザの予防接種はじまっています！！  
当事業所でも、職員全員が接種しています☆



**9/28に行われた秋の会で、勤続10年の職員3名が表彰されました**



入社して、あっという間に10年が過ぎました。訪問看護は奥が深く、10年経っても、まだまだ学ばせていただく事ばかりです。子供たちも大きくなり、ほぼ手を離れてきました。ますます仕事にエネルギーを注げそうです。ご利用者様との出会いを大切にもう少し頑張ってみようと思います。  
看護師 鈴木保代

うちの末っ子が9カ月のころから、このステーションで働かせて頂いています。早いもので、その末っ子も6年生になり、来年は中学生です。子供たちは、この10年に本当に大きくなりました。私も少しは成長できているかな？ 元気が取り柄の私なので、これからは元気一番で頑張ります。皆様これからもよろしくお願ひ致します。  
介護福祉士 野沢由紀子

勤め始めたのは、長男が小学校1年生の頃でした。その長男も高校3年生。初めは介護保険のこともわからず、右往左往。あっという間の10年でした。事務としてまだまだですが、これからは頑張りますのでよろしくお願いいたします。  
ヘルパーステーション 事務 後藤瑞佳

## 編集後記

朝晩が冷え込むようになってきました。朝、布団からなかなか出られなくなってしまう時期がきますね。十分な睡眠と体調管理に気を付けたいと思います！（内海）

## 【目安箱】

ご意見、ご要望などは、いつでもご遠慮なく、ご連絡いただけますようお願い申し上げます。  
910-6327 主任管理者 吉井

